



学校教育目標 自ら学び考え 人間性豊かで 心身ともに健やかな生徒の育成
～ 挑戦 成長 そして飛躍へ ～

目指す生徒像 成長を目指し、進んで挑戦する生徒

創立30周年記念特別講演会

創立記念日である11月2日（水）、創立30周年記念講演会を開催し、「夢の育て方」と題して、本校卒業生である藤本愛祈さんに御講話をいただきました。藤本さんは、講話を通して生徒に伝えたいことは、「夢って軸を見つけながら育てるもの」ということでした。夢を育てるには、たくさんの葛藤やたくさんの決断があり、何かを決める時には自分が大事にしている考え方である「軸（『自分がワクワクするものか』、『誰かの人生に良い影響を与えられるものか』）」をもとに、判断しているという話がありました。「誰かの人生に良い影響を与えられることがしたい」という藤本さんの軸は、東日本大震災があった2011年7月、所属していた市民ミュージカルで被災地公演のため宮城県石巻市を訪れた際、公演を見てくれたおばあさんからの「あなたの笑顔で明日も生きられます」という言葉から、自身の軸が形成されたと教えてくださいました。

また、「夢は変わってもいい」、「夢に向かって進むスピードは、人によって違う」、「夢の大小は関係ない」という話があり、夢を育てる際に藤本さんが自身で大切にしているマイルールについても紹介してくれました。

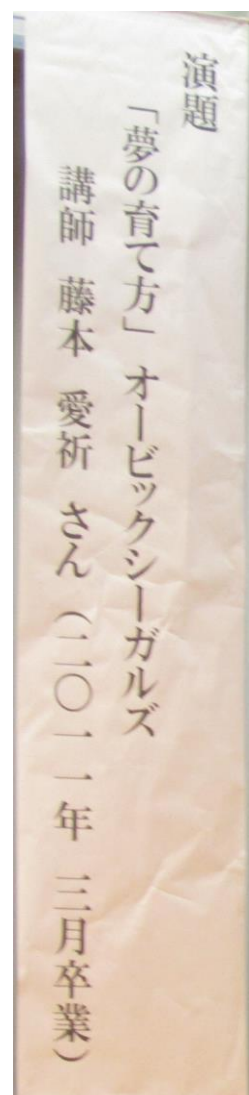
- ①自分で「自由」に決めた道には、「責任」をもつ。
- ②自分の可能性を自分が一番信じてあげる。
- ③とにかく人と会う、その人の人生を聴く。
- ④無理はするときもある、無茶はしない。
- ⑤THIS IS ME.

生徒たちは、45分間の藤本さんの話を最後まで真剣に聞いており、一人一人の心に響く内容だったことが生徒の感想からも読み取れました。

講演の最後に藤本さんからのメッセージ

「尊敬」「感謝」「恩送り」

- どんな仕事でも、そこに人生をかけている人がいる。
- 人は自分が経験していない人生を経験している。
- 周りの人がいるから、今の自分がいる。



講演を聴いた生徒の感想より

- これからの高校受験や将来のための大学受験などもあるため、自分が何を軸にして、何を目的とするかを考えて、後悔しない決断をしたいと思います。
- 「若いうちはやりたいことをやる」という言葉が印象的だった。未来に自分のやりたいことができるために、選択肢をできるだけ多くするため、今勉強することがとても大切だと思いました。
- 「人とたくさん会うことは大切」という言葉が心に残りました。いろいろな人と出会い、たくさんの言葉を聞いて、自分の人生に生かすことが大切だと教わりました。一人の何気ない言葉が自分の人生の転機となり、自分が今考えている人生とは違う人生になるかもしれないと考えたら、自分の将来が楽しみになりました。
- 一番心に響いたのは、「『やりたいこと』と『なりたいもの』はイコールではない。」という言葉です。
- したことのないことに挑戦して、自分の引き出しを増やすという考えがいいなと思ったので、私もいろいろなことに挑戦して生きたいと思った。
- 私も「将来の夢＝職業」っていう考え方があり、今、その夢に向かって英語を勉強している。そんな自分でも、藤本さんにすごく共感できてうれしかった。
- 人のためになること、自分の周りの人を大切にすることなどが、心に響いた。自分のためだけではなく、人のためになることをしたいなと思わされた。

